製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト （ S D S ）

製造者情報

製造者　株式会社ヘルメチック
住所　東京都新宿区高田馬場 1-9-27
担当部門 研究室
ＴＥＬ　０３－３２００－７２８９
ＦＡＸ　０３－３２０８－８２３４

作成日　平成 26 年 10 月 3 日
改訂日　平成 28 年 7 月 20 日
整理番号 HS-001

製品名　HT-Seal F-109 グレー

危険有害性要約

GHS 分類

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性／引火ガス	分類対象外
可燃性／引火性エアゾール	分類対象外
支燃性／酸化性ガス	分類対象外
高圧ガス	分類対象外
引火性液体	区分 2
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	区分外

健康に対する有害性

急性毒性-経口	区分 5

急性毒性-経皮	区分外
急性毒性-吸入（気体）	分類対象外
急性毒性-吸入（蒸気）	区分外
急性毒性-吸入（粉塵／ミスト）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	区分 2A
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分 1B
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	区分 1(中枢神経系、視覚器、全身毒性) 区分 3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	区分 1(中枢神経系、視覚器)
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境急性有害性	区分外
水生環境慢性有害性	区分外

注意喚起語：危険

危険有害性情報

- 引火性液体及び蒸気
- 皮膚刺激
- 飲み込むと有害のおそれ
- 軽度の皮膚刺激
- 強い眼刺激
- 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- 中枢神経系、視覚器、全身毒性障害のおそれ
- 呼吸器への刺激のおそれ
- 眠気又は目眩のおそれ
- 長期のわたる、又は反復暴露による中枢神経系、視覚器障害のおそれ

安全対策

・熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること
・容器を接地すること／アースをとること
・防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること
・火花を発生しない工具を使用すること
・静電気放電に対する予防措置を講ずること
・保護手袋、保護メガネ、保護面を着用すること
・取扱い後は良く洗うこと
・保護手袋を着用すること
・使用前に取扱説明書を必ず読み、すべての注意事項を読み理解するまで取扱わないこと
・必要に応じて個人用保護具を使用すること
・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること
・粉塵、ヒューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと
・この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと
・環境への放出を避けること。
・容器を密閉しておくこと

応急措置

・皮膚又は髪に付着した場合は、直ちに汚染された衣類を全て脱ぎ、取り除く。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
・火災の場合には、炭酸ガス、泡、粉末消火器を使用すること。
・皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹸で洗うこと。
・皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
・汚染された衣類を脱ぎ再使用する場合には洗濯すること。
・暴露した場合は医師に連絡すること。
・気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。
・目に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズが容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。
・眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当を受けること。
・漏出物を回収すること。

保管

・容器を密閉しておくこと。
・涼しい所、換気の良い場所で保管すること。
・施錠して保管すること。

廃棄

・内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託業務すること。

物質の特定　　単一製品・混合物の区別：混合物

種類：配管用防食シール剤

危険有害性成分：

成　分　名	CAS No.	含有量 Wt.%
メタノール	67-56-1	15～20
アクリル系樹脂	登録済	60～70
炭酸カルシウム		15～25

国連分類：クラス 3（引火性液体）

応急処置

目に入った場合

水で 15 分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズが容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。

洗浄を続けること。

できるだけ早く医師の診断、手当を受けること。

皮膚に付着した場合

付着物を布にて素早く拭き取る。

皮膚又は髪に付着した場合は、直ちに汚染された衣類を全て脱ぎ、取り除く。

皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

多量の水と石鹸で洗うこと。

溶剤やシンナーは使用しない。

外観に異常が見られたり、痛みがある場合には医師の診断、手当を受ける。

吸入した場合

直ちに空気の新鮮な場所に移動し、安静にする。異常があれば速やかに医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。

嘔吐物は飲み込ませないこと。

医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護

適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、保護手袋等）を着用する。
換気を行う。

火災時の処置
- 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂。
- 適切な保護具を着用する。
- 可燃性のものを周囲から速く取除くこと。
- 指定された消火器、消火剤を使用すること。
- 高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
- 消火活動は風上より行う。
- 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

漏出時の処置
- 作業の際には適切な保護具を着用する。
- 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
- 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
- 着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。
- 漏出物は、密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。
- 付着物、廃棄物などは、関係法律に基づいて処置すること。
- 衝撃、静電気に備えて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
- 乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。
  大量の流出は盛土で囲って流出を防止する。
- 河川などへ排出され、環境への影響を起こさせないように注意する。

取扱いおよび保管上の注意

取扱
- 換気のよい所で取り扱う。
- 容器はその都度密閉する。
- 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
- 工具は火花防止型のものを使用する。
- 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。
- 取扱い後は、手、顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
- 密閉された場所における作業には、十分な局所廃棄装置を付け適切

な保護具を付けて作業すること。
・使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に浸けておく。
・静電気防止のため、装置等は設置し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。

保管上の注意
・日光の直射を避ける。
・通風の良いところに保管する。
・火気、熱源からとおざけて保管する。
・温度が４０℃以上になるところには置かないこと。
・水回りや湿度の高い所に置くと缶が錆びて内容物が漏出又は噴出する恐れがある。

暴露防止処置
・取扱い設備は防爆型を使用する。
・換気装置をつけて、蒸気が滞留しないようにする。
・液体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置についてはアースを取るように設備すること。
・屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用するなど直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けれるような設備とすること。
・取扱いの場所近くには、高温、発火源となるものがおかれないような設備とすること。
・タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取付けること。
・腐食物質に、作業者が直接触れたり、暴露したりしないような配慮をすること。

管理濃度／許容濃度
メタノール　200ppm
ACGIH TWA　200ppm

保護具　：呼吸用保護具
有機ガス用防毒マスクを着用する。
密閉された場所では送気マスクを着用する。
保護眼鏡　着用すること。

保護手袋：有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質ものを着用する。
保護衣　：取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。又化学品が浸透しない材質であることが望ましい。
その他　：静電気塗装作業を行う場合には、通電靴を着用する。

物理／化学的性質

外観	：液体
色	：グレー
臭気	：メタノール臭あり
引火点	：11.1℃
発火点	：470℃
沸点	：64℃
比重	：1.10(25℃)
爆発限界	：6～36 vol%
溶解度	：水に難溶
その他	：なし

安定性・反応性

・通常の取り扱いでは安定である。
・酸化剤と激しく反応し、火炎、爆発の危険をもたらす。
・過酸化水素水と混触したものは、衝撃により爆発する。
・高温を避ける。
・混触危険物質（酸化剤、過酸化水素）。
・揮発性で可燃性液体。

有害性情報

急性毒性

メタノール

経口(ヒト)LDL	3.4g/kg
吸入(ヒト)TCL	300ppm
経口(ラット)LD50	5.6g/kg
吸入(ラット)LD50	64,000ppm(4h)
経口(マウス)LD50	7.3g/kg
吸入(マウス)LCL	50g/m^3(2h)

皮膚腐食／刺激性　データなし

眼に対する刺激性	高濃度蒸気は、目、鼻、喉の粘膜を刺激するおそれがある。
発がん性	知見なし。
感作性	知見なし
生殖毒性	妊娠中の雌ラットに 1 日 7 時間、1～22 日間の暴露で TCL_0 20,000ppm(7h)であったことが報告されている。
慢性毒性	200ppm を超える蒸気に長時間暴露されていると視神経障害めまい、腹痛などが現れる。 激しい中毒は、肝臓及び腎臓の障害を引き起こす。 また、気中濃度が 200ppm 以下であれば作業現場における中毒はほとんど起こらない。

環境影響情報

漏洩時・廃棄などの際には、環境に影響を与えるおそれがあるので、取扱いに注意する。特に製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

廃棄上の注意

残余廃棄物、汚染容器及び包装

- 廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- 製品、廃材料及び焼却灰等の一部は、特別管理産業廃棄物の「特定有害産業廃棄物」に該当する法律及び関係する法律に準じて行うこと。
- 廃液などを焼却処理する場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。
- 特別管理産業廃棄物（廃油）に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をすること。
- 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

輸送上の注意

- 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
- 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

国連分類：クラス 3
国連番号：1263(塗料)
陸上輸送
・消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる輸送方法に従うこと。
海上輸送
・船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送
・航空法の定めるところに従うこと。
指針番号：131

適用法規	消防法	第 4 類第 1 石油類　危険等級Ⅱ
	労働安全衛生法	危険物（施行令別表 14−3 引火性の物） 第 2 種有機溶剤等
	船舶安全法	危険物告示別表（引火性液体類）
	航空法	爆発物等告示別表（引火性液体）

科学防災指針（日本化学会編）
製品安全データシートガイドブック（日本塗料工業会）
溶剤ポケットブック（オーム社）
危険物防災救急便覧
国際化学物質安全カード（ICSC）

この SDS は、弊社の製品を適正にご使用戴く為に必要で注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取扱いを対象としたものです。
記載内容については現時点で入手した危険、有害の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。
この SDS は、法令の改正や新しい知見により予告なく改訂する場合がございます。

以上